「ぎ」で始まる語彙辞典

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「ぎ」で始まる語彙辞典 4

おわりに 11

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「ぎ」で始まる語彙辞典

ぎ‐あく【偽悪】
《「偽善」に対してできた語》
わざと悪を装うこと。「―趣味」⇔偽善。

ぎが‐か【戯画化】
［名］（スル）
物事をこっけいに、また風刺的に描き出すこと。おかしく皮肉なとらえ方をすること。「政界を―して描く」

ぎきょう‐しん【義侠心】
義侠を積極的に行おうとする心・気性。おとこぎ。「―にかられて行動を起こす」

ぎ‐ぎ【疑義】
意味・内容がはっきりしないこと。疑問に思われる点。「―をただす」「―を抱く」

ぎ‐ぎ【巍巍】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
山などの高く大きいさま。「―たる岩山」

ぎこう‐てき【技巧的】
［形動］
技巧がすぐれているさま。また、技巧に頼りすぎているさま。「―な文章」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ぎ‐じ【議事】
会合して、審議すること。また、その内容。「―の進行をはかる」

ぎしき‐ば・る【儀式張る】
［動ラ五（四）］
形式張ってものものしく体裁を飾る。「―・った会合」

ぎしき‐め・く【儀式めく】
［動カ五（四）］
儀式のようである。ものものしいようすである。「―・いたことをする」

ぎ‐ぜん【巍然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
山などが高くそびえたっているさま。また、ぬきんでて偉大なさま。「―として連なる山々」「―たる人物」

ぎ‐てん【疑点】
疑問に思う点。「―を問いただす」

ぎ‐ふん【義憤】
道義に外れたこと、不公正なことに対するいきどおり。「金権政治に―を覚える」

ぎ‐へい【義兵】
正義のために起こす兵。「―を挙げる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ぎもん - てん【疑問点】
疑問に思うところ。「―を指摘する」

ぎゃく - よう【逆用】
［名］（スル）
そのもの本来の目的とは逆のことに利用すること。「法を―した行為」

ぎゃっ - こう【逆行】
［名］（スル）
進むべき方向と反対の方へ進むこと。順序や流れに逆らって進むこと。「時代に―する」⇔順行。

ぎゅう - いん【牛飲】
［名］（スル）
牛が水を飲むように、酒などをがぶがぶ飲むこと。鯨飲（げいいん）。

牛耳（ぎゅうじ）を執（と）・る
《中国の春秋戦国時代、諸侯が盟約するとき、盟主になるべき人が牛の耳をとって裂いて出した血をすすって誓い合ったという「春秋左氏伝」の故事から》
同盟の盟主になる。また、団体の中心となって自分の思いどおりに事を運ぶ。牛耳る。

ぎょう - あん【暁闇】
夜明け方のほの明るいやみ。あかつきやみ。「―をついて出発する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ぎょう‐が【仰臥】
［名］（スル）
あおむけに寝ること。「ベッドに―する」⇔伏臥（ふくが）。

ぎょう‐かん【行間】
① 文章の行と行との間。「―ににじみ出る思い」
② 印刷で、行と行とのあき。

行間（ぎょうかん）を読・む
文章には直接表現されていない筆者の真意をくみとる。

ぎょう‐ぎ【凝議】
［名］（スル）
熱心に相談を重ねること。「鳩首（きゅうしゅ）―」

ぎょう‐こう【僥倖】
［名］（スル）
① 思いがけない幸い。偶然に得る幸運。「―を頼むしかない」「―にめぐりあう」
② 幸運を願い待つこと。

ぎょう‐し【凝視】
［名］（スル）
目をこらして見つめること。「闇（やみ）の中を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ぎょう - ぼう【仰望】
［名］（スル）
仰ぎ望むこと。また、敬い慕うこと。「碧空を―する」

ぎょう - ぼう【凝望】
［名］（スル）
目をこらしてながめること。じっと遠くを見つめること。

ぎょ - えい【魚影】
水中を泳ぐ魚の姿。また、魚の集まりぐあい。「―が濃い」

ぎょし - やす・い【御し易い】
［形］［文］ぎょしやす・し［ク］
自分の思うように扱いやすい。「―・い相手」

ぎょ - しょく【漁色】
次々に女を追い求めて情事にふけること。「―家」

ぎょろ - め【ぎょろ目】
鋭い光を帯びた大きな目。大きく見開いた目。「―でにらむ」

ぎょろり
［副］
大きな目玉を鋭く動かしてにらむさま。「―と目をむく」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ぎり - がた・い【義理堅い】
［形］［文］ぎりがた・し［ク］
対人関係の義理を大切にして、おろそかにしない。「―・い昔気質の人」

ぎり - ずくめ【義理尽くめ】
義理を尽くすこと。また、義理に縛られること。「―で身動きがとれない」

義理(ぎり)を立・てる
つきあいや恩義などに対して、それに見合う行為でこたえる。「恩師に―・てる」

ぎれい - てき【儀礼的】
［形動］
儀礼の形式だけを重んじて物事を行うさま。「―なあいさつ状」

ぎ - れつ【義烈】
正義を守る心が強く激しいこと。「―の士」「忠勇―」

義(ぎ)を見てせざるは勇無きなり
《「論語」為政から》
人としてなすべきことと知りながら、それを実行しないのは勇気がないからである。

ぎん - しょう【吟唱】
［名］(スル)
詩歌に節をつけてうたうこと。「古今の詩を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ぎん - せかい【銀世界】
雪が一面に降り積もって白一色になっている景色。「一面の―」

ぎん - せつ【銀雪】
銀色に輝く雪。「―の山々」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　　↓　　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.